

第三次町田市子ども読書活動推進計画

2015年度取組状況報告書

町田市教育委員会

2016年7月

目次

基本目標Ⅰ 子どもが本と出会うきっかけ作り

- 取組1 …… 図書館でのおはなし会
- 取組2 …… 地域子育て相談センターでのおはなし会(事業名:子育てひろば事業)
- 取組3 …… 学童保育クラブ、子どもセンターでのおはなし会
- 取組4 …… 自由民権資料館でのおはなし会
- 取組5 …… 生涯学習センターでのおはなし会
- 取組6 …… 健診時のおはなし会
- 取組7 …… ブックトークの充実
- 取組8 …… 町田市ひなた村創作童話コンクール
- 取組9 …… 「一日図書館員」・「子どもまつり」・「図書館入門講座」・
「図書館の達人養成講座」の実施
- 取組10 …… 図書館見学の受入
- 取組11 …… 文学館での講座実施
- 取組12 …… マイ保育園登録時の絵本配布(事業名:マイ保育園事業)
- 取組13 …… イベント等における本の積極的活用
- 取組14 …… ブックリストの提供
- 取組15 …… 教育課程における読書活動の明記

基本目標Ⅱ いつでも身近なところに本がある環境作り

- 取組16 …… 図書館の児童資料の充実
- 取組17 …… 公立保育園および地域子育て相談センターでの図書資料の充実
(事業名:保育園事業および子育てひろば事業)
- 取組18 …… 学童保育クラブ・子どもセンターでの図書資料の充実
- 取組19 …… 「学校図書館充実ハンドブック」の活用
- 取組20 …… 学校図書館の蔵書整備
- 取組21 …… 学校図書館コンピュータシステムの運用による資料の有効活用
- 取組22 …… 「子育てひろばカレンダー」の発行(事業名:子育てひろば事業)
- 取組23 …… 「生涯学習NAVI」の発行
- 取組24 …… 「親と子のあそび場情報」の発行
- 取組25 …… 「家庭学習の手引き」の提供

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

- 取組26 …… 保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施
- 取組27 …… 児童文学講座の実施
- 取組28 …… 学校図書館運営の研修
- 取組29 …… 図書指導員・司書教諭への図書館研修
- 取組30 …… 新任教諭への図書館研修
- 取組31 …… 図書館おはなし会ボランティアの養成
- 取組32 …… 文学館おはなし会ボランティアの養成

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

通し番号	取組名称	計画対象	取組内容	担当課
1	図書館でのおはなし会	乳幼児 小学生	乳幼児向けおはなし会・児童向けおはなし会を行う。乳幼児向けおはなし会参加者が児童向けおはなし会に継続参加してもらえるような魅力あるプログラム作りを検討し実施する。	図書館
2	地域子育て相談センターでのおはなし会 (事業名:子育てひろば事業)	乳幼児	地域子育て相談センターでは、地域の子育て支援として、子育て家庭の交流の場となる様々な子育てひろばを実施する。その一つとして乳幼児向けおはなし会を、絵本や紙芝居の読み聞かせを中心に行う。見て聞いて絵本の楽しさを味わえるように、わかりやすい絵本を提供しながら取り組む。	子育て推進課 (※)
3	学童保育クラブ、子どもセンターでのおはなし会	乳幼児 小学生	学童保育クラブ、子どもセンターでのおはなし会を継続するとともに、地域へのPRを図る。	児童青少年課
4	自由民権資料館でのおはなし会	乳幼児 小学生 中学生	町田の郷土史に興味を持ってもらうために、「町田の民話」等のおはなし会や紙芝居等を実施する。	生涯学習総務課
5	生涯学習センターでのおはなし会	乳幼児	「きしゃポッポ」などの保育を伴う事業において、読み聞かせや絵本の紹介を行う。	生涯学習センター
6	健診時のおはなし会	乳幼児	親子のコミュニケーションや絵本に出会うきっかけ作りを目的に、健診時の待ち時間を利用して絵本の読み聞かせを行う。	保健予防課 (※)

2015年度の取組状況／特記事項	今後の予定／課題等
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、開催時期・季節にあった内容を取り入れて実施している。 2015年5月 忠生図書館開館 図書館全館で乳幼児向けおはなし会を159回実施し、参加3,047人。児童向けは305回実施し、参加は4,447人。 	<ul style="list-style-type: none"> 木曾山崎図書館では、乳幼児向けと小さい子向けの間を埋める、2、3歳児向けおはなし会を2016年度から開始。 中央図書館では、英語を併読するおはなし会を実施予定。
<ul style="list-style-type: none"> 開催時期・季節・利用者の年齢にあった内容を取り入れて実施している。 子育てひろばの中で絵本を読む時間を取り入れたり、当日の参加者に対応し内容を変更できるように準備している。 室内開放では各年齢にあった絵本を子どもの手に取りやすい位置に配置し環境を整えている。 地域のボランティアによるお話し会や図書館職員によるお話し会も開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き絵本と親しむ機会や場の提供を行い、絵本の良さや魅力を伝えていきたい。
(継続事業) <ul style="list-style-type: none"> 毎月2回(2歳までの幼児)を対象として、絵本の紹介も含めお話、歌遊びなどを、ボランティア団体(柿の木文庫)の方に依頼し実施している。 小学生も対象にした、素話や絵本、紙芝居、パネルシアターなど、40分ものお話を、年に2回、上記と同じ団体(柿の木文庫)の方に依頼し、実施している。(つるっこ) (新規事業) <ul style="list-style-type: none"> 学童では、地域のボランティア(生涯学習センター登録ボランティア)の方からの申し出により、年2回くらいお話会を実施している。(つるっこ学童) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、継続的に実施する中で、課題を検証しながら充実した取り組みにしていきたい。
(継続事業) <ul style="list-style-type: none"> 毎月2回、未就学児の幼児を対象として、絵本の紹介も含めお話、手遊び・パネルシアターなどを、ボランティア団体(元気の素)の方に依頼し実施している(ばあん) (継続事業) <ul style="list-style-type: none"> 毎月1回小学生以上(幼児も可)を対象にした、素話や絵本、紙芝居・なぞなぞなどのお話を、ボランティア団体(福福)の方に依頼し、実施している(ばあん) 	
(継続事業) <ul style="list-style-type: none"> 毎月1回未就学児の幼児を対象にした、紙芝居・手遊び・パネルシアター・音楽に合わせてのお話など(絵本の紹介も含め)を、ボランティア団体(ひろば;文庫)の方に依頼し、実施している(ただON) 	
(継続事業) <ul style="list-style-type: none"> 毎月1回(乳幼児)を対象として、絵本の紹介も含めお話、手遊びなどを、ボランティア団体(町田語り手の会)の方に依頼し実施している(ばお) (継続事業) <ul style="list-style-type: none"> 毎月2回(幼児～小学生)を対象として、紙芝居、素話などのお話を、ボランティア団体(福々、まるぱん)の方に依頼し実施している(ばお) 	
<ul style="list-style-type: none"> 2015年11月3日開催の「資料館まつり2015」の催し物として紙芝居を上演。参加人数:中学生以下30人(前年度と同数、ただし、上演中に途中参加・退場が可能であるため、今年度・前年度ともに概算人数で30～40人です。) 	<ul style="list-style-type: none"> 資料館まつりでの紙芝居は継続予定。 子ども向けの展示を検討中。実現できれば関連企画を開催したい。
<ul style="list-style-type: none"> 「きしゃポッポ」や「パパと一緒にきしゃポッポ」で、0、1歳児の保護者を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館から本を借りるなどしながら、引き続き実施する。
<ul style="list-style-type: none"> おはなしじょうろさん(ボランティア)により、3歳児健診の待ち時間に絵本の読み聞かせや手遊びを継続実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続実施予定。

通し番号	取組名称	計画対象	取組内容	担当課
7	ブックク	小学生 中学生	一つのテーマでいろいろなジャンルの本を紹介するブックトークを夏・冬休みなどに行う。より多くの興味深い本を紹介できるよう職員のスキル向上を図るとともに、子どもたちへのPR強化に努める。	図書館
8	町田市ひなた村創作童話コンクール	小学生 中学生 高校生	ひなた村条例4条(2)に基づく青少年の創作活動の機会提供の一環として、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的として行っている「ひなた村創作童話事業」の充実を図る。	ひなた村
9	「一日図書館員」・「子どもまつり」・「図書館入門講座」・「図書館の達人養成講座」の実施	乳幼児 小学生 中学生 高校生	子どもが図書館や本に興味を持つようになるきっかけ作りとして、「一日図書館員」・「子どもまつり」・「図書館入門講座」・「図書館の達人養成講座」を開催する。引き続きPRを強化し、参加者の増加を図る。	図書館
10	図書館見学の受入	小学生 中学生	子どもたちに図書館を知ってもらうため、学校と連携して図書館見学の受入れ校を増やしていくとともに、移動図書館「そよかぜ号」による学校訪問を行う。	図書館
11	文学館での講座実施	乳幼児 小学生 中学生 高校生	文学館の特徴をいかした、子どもを対象にした講座等を実施する。内容により積極的に庁内他部門と連携を行い、共催を検討する。	文学館
12	マイ保育園登録時の絵本配布 (事業名:マイ保育園事業)	乳幼児	地域の未就園児子育て家庭の「かかりつけ窓口」として実施している「マイ保育園事業」では、登録の際に0歳のお子さんを持つ保護者に絵本を配布している。絵本に関しては、図書館と連携して0歳向けのものを選定している。	子育て推進課
13	イベント等における本の積極的活用	乳幼児 小学生 中学生 高校生	イベントや講座等を開催する際に、テーマや対象にあった本を展示・紹介する。	生涯学習センター
14	ブックリストの提供	乳幼児 小学生 中学生 高校生	子どもたちに本を紹介するために年代別ブックリストを作成し、連携課に配布協力をしてもらい、より多くの子どもたちのもとへ届けるとともに、子ども関係施設の選書の際に活用してもらう。 ・赤ちゃん向け「あかちゃんとのしむえほん」の提供 ・幼児向け「ほんのたからじま3・4・5さい」の提供 ・小学生向け「ようこそ本のたからじま1ねんせい」、「本のたからじま1・2年生、3・4年生、5・6年生」、「みんなでもう子どもの本」の提供 ・ヤングアダルト向け新刊図書案内「YA通信」の提供	図書館
15	読書学校活への教育課程における読書活動の明記	小学生 中学生	読書活動について教育課程「指導の重点」へ明記し、市立小・中学校において特色ある読書活動に取り組む。	学校・指導課

2015年度の取組状況／特記事項	今後の予定／課題等
<ul style="list-style-type: none"> 夏休み・冬休み等に、低学年向け、低～中学年向け等を対象にして実施。6館16回。 学校からの依頼で出張し、小学校のべ4校13回、中学校のべ10校24回実施。 子どもまつりのプログラムでも、工作と合わせて行い参加を促すなど工夫して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校、特に3年生向けは経験値が少ないので、プログラムの充実を図って行きたい。
<ul style="list-style-type: none"> 6月1日～9月10日にかけて募集を行い、275編の応募があった。10～11月に予備審査、12月に本審査を行い、2016年2月7日に優秀作品の表彰式・作品発表会を実施。3月に優秀作品を掲載した童話集『童話の木』を刊行した。 	<ul style="list-style-type: none"> 2016年度は20回目の節目開催にあたるため、記念企画を検討している。 応募数が減少傾向にある。
<ul style="list-style-type: none"> 夏休み中に「一日図書館員」、「入門講座」、「達人講座」を実施。参加人数等は以下のとおり。 一日図書館員:5回計13人 入門講座(バックヤードツアー):1回14名(うち子ども8名) 達人講座:1回3人 子どもまつり:市民による実行委員会(15団体参加)が図書館と共催で実施。3月23日～27日の5日間、62プログラムで1,709人の参加(うち子どもは774人)。 	<ul style="list-style-type: none"> 達人講座への参加人数が低迷しているため、告知、実施手法を再検討する必要がある。 子どもまつりは、前回より12プログラム増え、利用は300人増。引き続き、開催していく。
<ul style="list-style-type: none"> 学校の図書館見学受入29件(前年度から9件増) 自由研究おうえんのテーマに移動図書館を取り上げ、市役所に掲示を行った。 	
<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児向けおはなし会や小学生対象の俳句教室などの定例事業を行った。 夏季企画展の宮沢賢治展では、関連イベントで相模原市立博物館や慶應義塾大学大学院の協力を得てイベントを実施した。 夏休みには出前講座を小学校2校で実施し、計53人の参加があった。 中学校との連携事業では、ショートショート実作講座を実施し63人の参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き庁内連携を図りながら、子どもを対象にした講座等を実施する。 【課題等】館内での事業だけでなく、積極的に学校に出向く館外活動も継続して行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 絵本の配布に加え、0歳向けの遊びの会で「登録時に配布した絵本」の読み聞かせを行い、家庭での読み聞かせにつながる様になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して行っていく。
<ul style="list-style-type: none"> 平和祈念事業(8月)において、戦争や平和に関する紙芝居の読み聞かせを実施した。 12月に忠生図書館と連携し、絵本読み聞かせ(図書館が担当)と子育て講座(生涯学習センターが担当)を組み合わせた事業を開催し、15組の親子が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、図書館と連携することで、それぞれの人的・物的資源を活用し、相乗効果を得られるような共催事業の開催を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 4月、市内市立小学校入学式で、「とよかん1ねんせい」事業の一環で、「ようこそ本のたからじま1ねんせい」を全配布。 夏休み前に、「本のたからじま(1・2年生、3・4年生、5・6年生向け)」を改訂してから、奇数学年の全児童に配布。 2～3月、「ほんのたからじま(3、4、5さい)」を、子どもまつりチラシとともに、保育園・幼稚園に配布。 「みんなでもう子どもの本」は年4回+総集編を発行し、子ども関係施設にて配布。また2015年度から、図書館ホームページにテーマ資料としてまとめて掲載し、検索・予約が簡単にできるようにした。 市内の全中学校・公立高校、私立学校等40校、子どもセンター等へ、YA通信を毎月配布。 	
<ul style="list-style-type: none"> 小学校42校、中学校20校において教育課程「指導の重点」に読書活動について明記。 	<ul style="list-style-type: none"> 12月19日の「2016年度町田市小・中学校教育課程編成及び届出説明会」において、特色ある読書活動に取り組むことを明記するよう説明。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

通し番号	取組名称	計画対象	取組内容	担当課
16	図書館の児童資料の充実	乳幼児 小学生 中学生 高校生	図書館において、子どもたちの興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実に努めるとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	図書館
17	公立保育園および地域子育て相談センターでの図書資料の充実 (事業名: 保育園事業および子育てひろば事業)	乳幼児	公立保育園では、在園の乳幼児を対象に、地域子育て相談センターでは、地域の子育て家庭を対象にそれぞれ図書資料を用意する。本の購入だけではなく、図書館の団体貸出や再利用本の受入れ等を利用しながら、資料の充実を図る。また、希望に応じて、家庭への貸出も行い、親子で絵本をゆっくり見ることができるようになる。	子育て推進課
18	学童保育クラブ・子どもセンターでの図書資料の充実	乳幼児 小学生 中学生 高校生	学童保育クラブ・子どもセンターは、図書館の団体貸出や再利用本の受入れなどにより、資料の充実を図る。	児童青少年課
19	「学校図書館充実ハンドブック」の活用	小学生 中学生	「学校図書館充実ハンドブック」の活用により、市立学校図書館の蔵書及び運営の充実を図る。	学校・指導課
20	学校図書館の蔵書整備	小学生 中学生	学校図書館の蔵書を計画的に整備するため、2013年度に「町田市立学校図書館蔵書整備計画作成指針」を策定した。2014年度から2018年度までの5年間で、文部科学省が定める学校図書館図書標準を全市立小・中学校が達成できるよう、各校で作成した「学校図書館蔵書整備計画」に基づき、学校図書館資料の充実を図る。	学校・指導課 教育総務課
21	学校図書館コンピュータシステムの運用による資料の有効活用	小学生 中学生	学校図書館コンピュータシステムの運用により、全市立小・中学校が、統一かつ適正な蔵書管理を行うとともに、蔵書管理、貸出・返却、蔵書統計一覧等の作成等の機能を十分に活用し、学校図書館資料の有効活用を図れるよう支援する。	学校・指導課 教育総務課 教育センター

2015年度の取組状況／特記事項	今後の予定／課題等
<ul style="list-style-type: none"> 全館担当者出席の選定会議で、新刊(現物)の内容を確認して発注を行っている。 職場体験、一日図書館員に参加した生徒がお薦めしてくれた本で、図書館に所蔵していなかったものを購入した。 	<ul style="list-style-type: none"> 残念ながら資料購入費は毎年減少している 【参考1】児童書の受入冊数 2013年度 10,743 2014年度 9,967 2015年度 7,946(うち忠生1,521) 【参考2】図書購入費(児童書以外も含む。文学館と2014年度までの忠生図書館開館準備分除く) ※単位:千円 2013年度 58,466 2014年度 54,190 2015年度 39,863 2016年度 28,410(予算)
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、公立保育園では在園の乳幼児を、地域子育て相談センターでは地域の子育て家庭を対象に図書資料の用意する。貸出再利用本の受け入れ、図書館の団体貸出を利用し、資料の充実を図る。月に1回、本棚の絵本を入れ替え、地域の利用者や在園の保護者へのお便り等で子どもが好きな本を紹介し、親子で本を読むきっかけ作りをしている。ボランティアによる読み聞かせや本の紹介、図書館員による本の扱い方を教えてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生が授業で絵本を製作し、園に保管して読み聞かせをし、子ども達の反響を伝える。図書購入予定。在園児が図書館へ行く予定。 本がマンネリ化しないようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の方から、家庭でみなくなった絵本などを提供していただき、その都度中身も確認した上で、有効活用している。(つるっこ) 図書館のリサイクル本や利用者から提供していただいた本を有効利用している。(ばあん) 図書館のリサイクル本の提供や利用者からの寄付本を有効利用している。(ただON) 図書館のリサイクル本の提供や利用者からの寄付本を有効利用している。(ばお) 	<ul style="list-style-type: none"> 提供される本は、内容の確認をし有効活用していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館担当者研修において、「学校図書館充実ハンドブック」に記載されている内容を紹介。 市内の優れた運営を紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> 他市の取組も紹介。
<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館担当者研修において、蔵書の整備において充実している学校の事例を紹介。 各校で作成した「学校図書館蔵書整備計画」に基づき、必要な予算配当を行った。 各校で作成した「学校図書館蔵書整備計画」の、2015年度の進捗状況を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換の場面を有効活用する。 学校図書館図書標準を全市立小・中学校が達成できるよう、次年度以降も引き続き予算の確保に努める。 各校で作成した「学校図書館蔵書整備計画」の進捗状況を確認する。
<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館担当者研修会において、講師を招聘し学校図書館コンピュータシステムの研修を実施。 情報BOX(学校図書館システム)活用インデックスを作成し、全市立小・中学校に配付した。 各学校ごとに予算措置していた毎年のデータ更新費用について、教育センターで一括して予算の確保を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入されているバージョンによって一部有効活用が図れない。 情報BOX(学校図書館システム)活用インデックスの活用を各校に促す。 システムの安定稼働

通し番号		取組名称	計画対象	取組内容	担当課
22	保護者に向けた	「子育てひろばカレンダー」の発行 (事業名:子育てひろば事業)	乳幼児	保育園で実施している子育てひろばに関する情報誌「子育てひろばカレンダー」に、図書館で開催しているおはなし会情報を掲載している。毎月25日に発行し、市内約160箇所配布している。	子育て推進課
23		「生涯学習NAVI」の発行	乳幼児 小学生 中学生 高校生	市民が参加できる講座・講演会、イベント情報を集めた情報誌「生涯学習NAVI」の中で、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会の情報を発信する。	生涯学習センター
24	読書情報の発信	「親と子のあそび場情報」の発行	乳幼児 小学生	保護者が図書館を身近に感じ、及び就学前の子どもが絵本の読み聞かせなどを通じて本に興味を持つきっかけとなるように、定期で実施する「おはなし会」の記事を「親と子のあそび場情報」誌に掲載する。	子ども総務課
25		「家庭学習の手引き」の提供	小学生 中学生	「家庭学習の手引き」を市立小・中学校に通う全児童・生徒の家庭へ提供し、読書習慣の確立を啓発する。	学校・指導課

2015年度の実施状況／特記事項	今後の予定／課題等
・保育園で実施している子育てひろばに関する情報誌「子育てひろばカレンダー」に、図書館で開催しているおはなし会情報を掲載している。毎月25日に発行し、市内約160箇所配布している。	・今後も継続して行っていく。
・子どもとその保護者を対象とした、おはなしの会や紙芝居や絵本、ことば遊びのイベントの情報を発信した。	・引き続き、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会の情報を発信する。
・「親と子のあそび場情報」を5000部発行し、公共施設、幼稚園、保育園、小児科等に配布した。	・年1回の発行のため、イベント内容を詳細に記載できないことや、記載する情報がホームページやメール配信(ほっとメール)等と重複していることもあり、2016年度以降は発行しない。
・「家庭学習の手引き」を5月に配布。	・活用状況の調査方法を検討予定。 ・2016年4月に小・中学校の新一年生に配布。

基本目標Ⅲ ◎子どもの読書に関わる人の配置と育成

通し番号		取組名称	計画対象	取組内容	担当課	2015年度の取組状況／特記事項	今後の予定／課題等
26	保護者向け講座	保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施	乳幼児 小学生	保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者に対して、絵本の読み聞かせ講座を実施する。充実した講座にするため、引き続き職員間でスキルの共有と向上を図る。	図書館	・読み聞かせ講座は、依頼により2回出張。 その時に、まだその内容の講座を担当したことがない職員に見学させ、スキルアップを図った。	
27		児童文学講座の実施	乳幼児 小学生 中学生 高校生	児童文学に関する講座等を行う。	文学館	・翻訳家・児童文学者の清水真砂子氏の講座、「だいすきの会」との共催によるオランダの絵本作家・マーリット氏のトークショーを開催し、計149人の参加者があり好評を得た。また、市民が主体的に児童文学の研究をすすめる児童文学市民研究会を立ち上げ12人が登録し研究を行った。	・児童文学市民研究会と連携した児童文学講座の開催。
28	施設運営職員育成研修	学校図書館運営の研修	小学生 中学生	図書指導員が司書教諭と連携して、蔵書管理や環境整備、子どもへの働きかけ等の多様な活動の充実を図る。	学校・指導課	・研修会を3回実施し、図書館指導員と司書教諭の連携した実践を紹介した。また、蔵書管理、環境整備、子どもへの働きかけ等について毎回情報交換の場を設定し、活動の充実を図った。	・2016年度の研修で紹介する実践事例について調査を行い、研修計画を作成。
29		図書指導員・司書教諭への図書館研修	小学生 中学生	市立学校図書館に携わる職員(司書教諭・図書指導員)の研修を充実させ、円滑な運営を図る。		・夏季休業中を利用し学校図書館で調べ学習の充実について演習を交えて研修した。具体的な活用方法を学ぶとともに、優れた事例が共有されるように情報交換の場を毎回設定した。	・2015年度の研修の受講者アンケートを分析し、司書教諭・図書指導員のニーズに応じた研修会を企画。
30		新任教諭への図書館研修	小学生 中学生	今後の授業に役立つよう、市立小・中学校の新任教諭への図書館実地研修を行う。		・研修会を1回実施した。 ・中央図書館の使い方について、中央図書館の職員の方から説明を聞く機会を設定。	・2016年度の研修会の日程調整、研修内容等を中央図書館と連絡を取り合い、研修計画を作成。
31	ボランティア育成講座	図書館おはなし会ボランティアの養成	乳幼児 小学生	図書館のおはなし会で活動するボランティア養成講座を開催する。引き続き新規のボランティアを養成するとともに、講座修了者に対してフォローアップの研修を検討し実施する。	図書館	・10月に乳幼児向けおはなし会ボランティア養成講座、11～12月にかけて語り手養成講座を実施した。修了者は各9人。 ・3月、スキルアップ講座「わらべうたであ・そ・ぼ」を実施。養成講座修了生9人、既活動者12人と、玉川学園駅前連絡所職員1人が参加。	
32		文学館おはなし会ボランティアの養成	乳幼児	文学館事業のボランティアの技能をスキルアップする。	文学館	・乳幼児向けおはなし会ボランティアのスキルアップを目的として、紙芝居とわらべうたの講座を実施した。	・来年度も引き続きスキルアップ講座を行う。 【課題等】 ボランティアのスキルが高くなってきているので、新たな課題を設定して講座を実施する必要がある。

※組織改正による担当名変更(2015年度から)
子育て支援課→子育て推進課
健康課→保健予防課